

暮らしの中の防災

～フェーズフリーに貢献するパイオニア企業～

災害はいつ誰の身に降りかかるかわかりません。
日々の暮らしに無理なく溶け込み、もしもの時に役立つ
「暮らしの中の防災」。
先進的な取組を行うパイオニア企業のトップから、
企業として防災に関わる意義や
将来展望をお聞きます。



日常で使えるものが
もしもの時に役立つ



遊びや体験を通して
楽しく防災を学ぶ



自然と向き合う力が
災害対応力につながる



企業×地域の連携で
防災力を高める

日時

10月17日(土) 12:30～14:00

会場

エースパック未来中心 小ホール (約300席)
鳥取県倉吉市駄経寺町212-5

入場無料
事前申込不要

どなたでも
ご参加いただけます

プログラム

12:30～12:35
登壇者ご紹介(5分)

12:35～13:10
【基調講演1】(35分)
株式会社良品計画
清水 智 様

13:10～14:00
【基調講演2】(50分)
株式会社モンベル
辰野 勇 様

基調講演登壇者

基調講演1

株式会社 良品計画

代表取締役社長

清水 智 様

良品計画
RYOHIN KEIKAKU



日常使いの中で防災力を高めていく製品開発や、
遊びながら楽しく防災を学ぶイベント
「いつものもしも CARAVAN」等を通じて、
もしもの時の防災・対応力向上に貢献されています。

<経歴>1996年良品計画入社。2011年6月無印良品有楽町
店長、2015年5月取締役販売部長、2017年8月同社商品本部
長、2021年9月同社専務取締役中国大陸事業部長(兼)中国大
陸事業、台湾事業、香港事業管掌。2024年11月より同社代表
取締役社長(現任)。

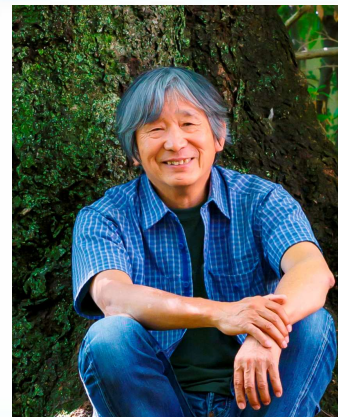
基調講演2

株式会社 モンベル

代表取締役会長兼CEO

辰野 勇 様

mont-bell



「自然災害への対応力」を社のミッションの一つとして、
製品開発や社会貢献に取り組み、被災地での
復興支援や防災用品の寄贈などを通じて、
もしもの時の防災・対応力向上に貢献されています。

<経歴>1947年大阪府堺市に生まれる。少年時代、ハインリッ
ヒ・ハラーのアイガー北壁登攀記「白い蜘蛛」に感銘を受け、以来
山一筋の青春を過ごす。2011年に発生した東日本大震災では、
阪神淡路大震災以来の「アウトドア義援隊」を組織し、アウトドア
での経験をいかした災害支援活動を自ら被災地で陣頭指揮する。

こんなお話が聞けます

【良品計画 清水様】

- 良品計画が提唱する
防災の考え方
「いつものもしも」について



【モンベル 辰野様】

- 7つのミッションと理念
- 企業として防災に関わる
意義



共に考え・備え・守る
～「支え愛」で守る命と暮らし～

【問合せ先】

鳥取県総合統括課ぼうさいこくたい等推進室

(電 話) 0857-26-7498

(ファクシミリ) 0857-26-8111

(電子メール) sougoutoukatsu@pref.tottori.lg.jp

手話通訳・要約筆記
をご準備しています